

fib 大阪 コンgress 2002 の広報活動について

二羽 淳一郎*

1. 広報部会について

10月13日から19日まで、大阪国際会議場で開催される fib 大阪コンgress 2002 のための広報活動を所掌する組織として、実行委員会内に広報部会が組織されており、筆者がその主査を務めている。部会のメンバーは表-1のとおりであり、春日、森の両氏が幹事として、部会活動

表-1 広報部会メンバー

	氏名	所属等
主査	二羽 淳一郎	東京工業大学 理工学研究科
幹事	春日 昭夫	住友建設(株)
〃	森 拓也	(株)ピー・エス
委員	杉山 隆文	群馬大学 工学部
〃	北山 和宏	東京都立大学 工学部
〃	羽原 俊祐	太平洋セメント(株)
〃	山田 真人	住友電気工業(株)
〃	山本 徹	鹿島建設(株)

全般の実施運営と他の部会との連絡調整にあたっている。少ないメンバーではあるが、委員全員が協力して、Circular (会議案内) の刊行を中心に、活動に取り組んでいる。

2. 広報部会の活動状況

広報部会が現在までに行ってきた活動状況は、表-2のとおりである。

なお、1998年5月のFIPアムステルダムコンgressの際には、まだ広報部会が立ち上がっておらず、fib大阪コンgressのための実行準備会のメンバーであった森氏を中心に作業が進められ、Preliminary Announcement (会議予告案内) が作成されている。

したがって、2000年10月のFirst Circular & Call for Papers (会議1次案内) からが、広報部会が担当した内容である。

表-2 現在までの広報部会の活動状況

時期	内容	備考
1998. 5	Preliminary Announcement (会議予告案内)の作成	FIP アムステルダムコンgressにて配布
2000.10	First Circular & Call for Papers (会議1次案内)作成	fib シンポジウム (オランダ)にて配布
2001. 3~	各種国内外技術雑誌に会議開催を広告	
2001. 4	fib 大阪コンgress 2002のホームページを開設	
2001.10	Second Circular & Call for Papers (会議2次案内, 英語版)作成	fib シンポジウム (ベルリン)にて配布
2001.10	プロモーションビデオ作成	fib シンポジウム (ベルリン)における山崎実行委員長長の招待演説に使用
2001.11	Second Circular & Call for Papers (会議2次案内, 日本語版)作成	PC技術協会シンポジウム (広島)にて配布
2001.12	コンgressポスター制作 (国内用)	
2001.12	Second Circular & Call for Papers 改訂版 (会議2次案内, 日本語版)作成	
2002. 1	ホームページによる会議参加登録受付開始	
2002. 5	Final Invitation (会議最終案内)作成予定	
2002.10	Final Program (最終プログラム)作成予定	



* Junichiro NIWA

fib 2002 実行委員会 委員
広報部会 主査
東京工業大学大学院 理工学研究科 教授

会議1次案内作成後は、参加者拡大のためのプロモーション活動について検討した。その結果、各種の国内外技術雑誌に会議開催の広告あるいは会告を出すことにした。広告を行った海外雑誌は、以下のとおりである。

- ① Beton und Stahlbetonbau (ドイツ) 2001年4月号
- ② Structural Engineering International (IABSE) 2001年5月号
- ③ Travaux (フランス) 2001年4月号
- ④ Concrete International (米国) 2001年5月号 (これは会

議案内のページに無料で掲載された)

- ⑤ PCI Journal (米国) 2001年3月/4月号
- ⑥ Bridge Design & Engineering (英国) 2001年5月号

なお、先方との連絡は、PC技術協会事務局の内山ゆみさんに担当していただいた。

国内では、橋梁と基礎、土木学会誌、セメント・コンクリート、コンクリート工学、ならびにプレストレストコンクリートにfib大阪コンGRESの開催記事を掲載してもらっている。

このほか、広報部会として取り組んでいるのが、ホームページの充実である。ホームページは本年2月に一新され、現在では会議参加登録がホームページ上からできるようになっている。参加登録費の支払いにはクレジットカードも利用できる。更新されたホームページをぜひ一度ご覧いただきたい。ホームページのURLは以下のとおりである。

<http://www.fib2002.com/j/index.html>

資料-1は更新されたホームページのトップページである。

2001年10月にベルリンで開催されたfibシンポジウムの際に、山崎 淳実行委員長が大阪コンGRESへの招待演説を行うこととなった。広報部会では、そのための視覚化ツールとして、プロモーションビデオを作成することにした。ビデオは伝統的な大阪の文化を紹介する部分と、わが国の先端的なPC技術、PC構造物を紹介する部分から構成された

ものであったが、出来映えが良く、好評であった。このビデオの作成に関しては春日幹事の貢献が非常に大きかった。

Second Circular & Call for Papers (会議2次案内)からは、扇 千景 国土交通大臣、太田房江 大阪府知事、磯村隆文 大阪市長、fib会長のJoost Walraven 教授、そして組織委員長の池田尚治 教授の挨拶文が掲載されている。

この会議2次案内はベルリンでの配布を目標としており、英語版作成の締切りはかなりタイトなものとなっていた。中でも扇大臣の挨拶文を入手するためには、かなり時間を要することが予想されたのであるが、国土交通省技術調査課のご協力と、PC技術協会の桑山専務理事、春日幹事のご尽力により、思いのほかスムーズに原稿をいただくことができたのは、実に幸運であった。

会議2次案内は、日本語版も作成し、2001年11月に広島で開催されたPC技術協会シンポジウムで配布した。なお、会議2次案内については、内容の一部訂正や追加が必要となったため、2001年12月に改訂版を作成している。資料-2に、改訂版の会議2次案内の抜粋を示す。

広報部会では、現在、本年5月に配布するFinal Invitation (会議最終案内)の原稿を作成中である。その主な内容のうち、会議2次案内から大きく変化する項目は、

- (a) 具体的なセッション会場の案内図
- (b) 会議期間中の詳細スケジュール
- (c) テクニカルツアーの詳細案内

資料-1 ホームページのトップページ

fib 大阪コンGRES 2002
 "21世紀のコンクリート構造"
 (2002年10月13日~19日)

English / 英語

- 最新情報
- ごあいさつ
- 運営組織
- 会場
- 会場テーマ
- スケジュール
- 学術プログラム
- 特別プログラム
- 参加登録のご案内
- ホテル予約のご案内
- 交通機関のご案内
- 技術展示のご案内
- 発表講演者の方々へ
- トップページへ

更新
2002.02.04

主催: 社団法人プレストレストコンクリート技術協会
 社団法人日本コンクリート工学協会

後援: 社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会
 社団法人セメント協会

<http://www.fib2002.com/j/index.html>

資料-2 会議2次案内①



fib 大阪コンgres 2002

(2002年10月13日-19日)

"21世紀のコンクリート構造"

セカンドサーキュラーおよび参加登録募集



主催: 社団法人プレストレストコンクリート技術協会 
 社団法人日本コンクリート工学協会 

後援: 社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会 
 社団法人セメント協会 

2001年12月改定版

会場

大阪国際会議場 (グランキューブ大阪)
 〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-51
 Tel: 06-4803-5555 Fax: 06-4803-5620
 URL: http://www.gco.co.jp/




メインホール (大阪国際会議場) 大阪国際会議場

会議テーマ

"21世紀のコンクリート構造"
 この大会は、fibとして第1回目の記念すべきコンgresです。21世紀のコンクリート構造というテーマのもと、世界中の研究者や技術者が一堂に会し、その経験、知識、アイデアを共有するまたとない機会となるでしょう。テクニカルセッション、技術展示、テクニカルツアーおよびさまざまな特別プログラムが皆様を大阪でお待ちしています。



揖斐川・木曾川橋

7

スケジュール 一覧

日程 (2002年)	午前		午後		夕刻
	9:00 - 10:30	11:00 - 12:30	14:00 - 15:30	16:00 - 17:30	
10.12 (土)			14:00-17:30 fib 運営委員会および fib 評議会 * 委員会委員のみ		
10.13 (日)	9:00-13:00 fib 運営委員会および fib 評議会 * 委員会委員のみ		15:30-17:30 fib 総会 * fib 会員のみ		ウェルカム レセプション
10.14 (月)	M-1 9:00-10:15 開会式	M-2 10:30-12:30 プレナリー 1	M-3 セッション	M-4 セッション	
10.15 (火)	T-1 プライマリー1 および セッション		T-2 ナショナルレポート およびセッション		
10.16 (水)	W-1 プライマリー2 およびセッション		W-2 ナショナルレポート およびセッション		
10.17 (木)	Th-1 fib 委員会報告 およびセッション		Th-2 fib 委員会報告 およびセッション		
10.18 (金)	F-1 9:00-11:00 プレナリー2	F-2 11:00-12:30 閉会式			
10.19 (土) 10.20 (日) 10.21 (月)	ポストコンgresツアー		ポストコンgresツアー		バンケット (懇親会)

学術プログラム

プレナリーおよびプライマリーセッション

プレナリーセッションは、10月14日(月)の開会式の直後および10月18日(金)の開会式の直前に行われます。プライマリーセッションは、10月15日(火)および16日(水)のその日のセッションの最初に、技術セッションと平行して行われます。世界の先駆的研究者およびエンジニアが、各専門分野の構造用コンクリートの興味ある話題について講演します。

現在、以下の講演者を予定しております。
プレナリーセッション:

J. Ito (日本)	M. Virlogeux (フランス)	C. Dolan (アメリカ)
M. Ishii (日本)	J. Strasky (チェコ)	C. French (アメリカ)
T. Kadotani (日本)	W. Sobek (ドイツ)	

プライマリーセッション:

J. Walraven (オランダ)	J.G. Forbes (オーストラリア)	L. Troyano (スペイン)
R. Park (ニュージーランド)	M. Astiz (スペイン)	H. Naito (日本)

ナショナルレポート

ナショナルレポートは、10月15日(火)および16日(水)のプライマリーセッションの後に、技術セッションと平行して行われます。いくつかの国が、その国特有のトピックについて口頭報告します。あらゆる国からのナショナルレポートを歓迎します。

fib 委員会報告

次の10の fib 委員会が10月17日(木)午前に、最新の活動状況を報告します。

- Commission 1 構造
- Commission 2 安全性と性能
- Commission 3 設計・施工と環境
- Commission 4 構造物のモデル化と設計
- Commission 5 構造物の供用期間と耐久性
- Commission 6 プレファブリケーション
- Commission 7 耐震設計
- Commission 8 コンクリート
- Commission 9 鉄筋およびプレストレス材料と工法
- Commission 10 施工

10

テクニカルセッション

次のセッションが会議最終日を除いて毎日開催されます。およそ600の口頭発表が予定されています。各セッションでは、それぞれの分野における先進的研究者、技術者によるキーノート講演を行います。

- Session 1 巨大プロジェクトおよび革新的な構造物
- Session 2 先進的なプレストレスコンクリートの設計と施工
- Session 3 トンネルおよび地下構造へのコンクリートの貢献
- Session 4 海洋構造物へのコンクリートの実践的適用
- Session 5 合成構造
- Session 6 コンクリート構造の耐震設計
- Session 7 新材料の開発
- Session 8 コンクリート構造物の耐久性
- Session 9 ハイパフォーマンスコンクリート
- Session 10 リサイクル
- Session 11 コンクリート構造物の安全性
- Session 12 コンクリート構造物のマネジメント
- Session 13 破壊メカニズムと非線形解析の実用化
- Session 14 コンクリート構造物の美観
- Session 15 モニタリング

羽田空港PC構築



瀬野橋

11

- (d) 技術展示の出展者リスト
 - (e) ポストコングレスツアーの詳細案内
- などとなる予定である。

また、会議の際には Final Program (最終プログラム) を作成して配布する予定である。

広報部会は、今後も、コングレスの成功に向けて努力していく所存であり、皆さまの一層のご協力とご支援を衷心よりお願いする次第である。

【2002年2月13日受付】